

正算 補予



補正予算の主なもの

追加額	内容
7億 819万 1,000円	(歳入) 普通財産土地売払収入
216万 9,000円	(歳出) 文化財保護事業
107万 8,000円	(歳出) 情報システム等管理運営経費
780万 9,000円	(歳出) 水産物等風評払拭事業

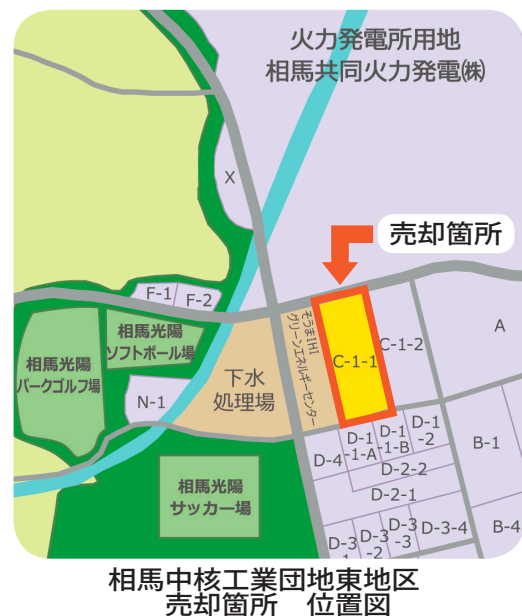
企業誘致等による土地売払収入、

下りマツの保全費用等の追加補正予算を議決

工業団地及び住宅団地の土地を売却

市の保有する土地を7億819万1,000円で売却するもの。

内訳として、①相馬中核工業団地東地区の土地をユニマテック株式会社に7億527万円で売却するもの。(左記位置図参照)

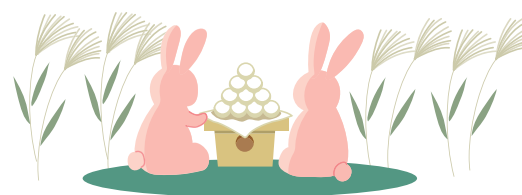


②防災集団移転促進事業で整備した山信田団地の緑地部分を、団地内の地権者5名に計292万1,000円で売却するもの。

議員 山信田団地の緑地売払いの詳細について問う。

市 団地に造成した緑地帯の隣接の方から有効活用したいとの要望があり、団地内住民の同意を得て、払下げをするものである。

面積は約404平米、平米単価は約7,230円となっている。



下りマツの保全に係る費用

市の天然記念物である下りマツの保全費用として、委託料216万9,000円を増額するもの。

議員 詳細について問う。

市 老木で弱ってきているため、樹養剤の注入、根元の保護、枯れた枝の剪定をしていく予定となっている。



下りマツ (10月3日時点)

生成AIのサービス利用料を補正

業務の効率化を図るため、職員全員が利用できる生成AIのサービス料として、107万8,000円を計上するもの。

議員 生成AIの利用状況について問う。

市 生成AIのサービスの利用については、ワーキンググループがガイドラインを作成し、7月より、試験運用を行ってきた。試験運用では、文書の要約などの業務が効率的になり、また、文書作成にも有効に活用できる。全庁的に展開すれば、事務の効率上がることから、今回、サービス導入を行うものとなっている。

水産物等のPRに係る委託料

相馬の水産物等の風評払拭を図るため、タイのバンコクにあるトンロー市場でPRなどを行う経費として、780万9,000円を計上するもの。

委託先は相馬商工会議所を予定しており、今後3年行う予定となっている。

議員 PR先選定の理由とPRする農水産物について問う。

市 タイのトンロー市場は、日本の食材の受入れが多い地域であること等から選定した。

PRする農水産物等については、事業実施予定の11月頃に獲れている水産物等を相馬商工会議所などと協議して決めていく。